

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

a. 企業間の連携

「エイチ・ツー・オー リテイリンググループ CSR 調達方針」は、お客さまが求める価値ある商品を提供するために、安心・安全な商品の供給、法令等の順守など調達に関する基本的な事項に加え、人権や労働環境、地球環境への取組方針を定めています。

この方針に基づき、調達先との良好なパートナーシップを構築するとともに、調達先だけではなく関与可能なサプライチェーンに対しても理解・浸透を図ることで、当社事業に関係するサプライチェーン全体での持続可能な調達を目指します。

d. グリーン化の取組

気候変動、資源経済循環、自然資本に配慮した調達を推進し、地球環境への負荷低減を目指します。サプライチェーンを通じた環境負荷の少ない流通システムの構築および気候変動を緩和させるための温室効果ガスの排出量削減などの実現に努めます。

e. 健康経営に関する取組

労働安全衛生体制の維持、向上を重要な経営課題と捉え、社内に委員会を設置し、当社従業員及びお取引先従業員の安全と健康の確保に取り組みます。

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。中小受託取引以外の企業間取引についても、取引上の立場に優劣がある企業間での取引の適正化を図ってまいります。

3. その他

当社グループのエイチ・ツー・オー リテイリングという社名は、当社グループの基本理念を地球環境になくてはならない存在である水（H2O）に置き換えて表現をしたもので。お客さまの暮らししぶりを潤し、洗練された生活モデルを提供し続ける、地域社会にとってなくてはならない企業であり続けたいと考えています。その実現に向けて、「エイチ・ツー・オー リテイリンググル

「プロ行動規範」に則り、公正な取引のルールを守り、お取引先様との良好なパートナーシップを構築し、社会全体に対し貢献してまいります。

2026年1月15日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言をします。

株式会社阪急阪神百貨店 代表取締役社長 山口 俊比古